

日本歯科衛生学会第14回学術大会に参加しました

9月14日(土)～16日(月・祝)に開催された「日本歯科衛生学会第14回学術大会」(会場：ウインクあいち(愛知県産業労働センター))に参加致しました。

「メインテーマ：治し支える歯科医療をめざして」、主催は日本歯科衛生学会、公益社団法人日本歯科衛生士会、共催は公益社団法人愛知県歯科衛生士会で、全国から、2,290名(過去最高)の歯科衛生士が集結し、熱気溢れる学術大会でした。14日のワークショップは6テーマで、WS6の「認定歯科衛生士(糖尿病予防指導)のスキルアップを目指して」に参加しました。

西田互先生(にしだわたる糖尿病内科：院長)のご講演「炎症で繋がる糖尿病と歯周病」と3名の事例報告・全体討議で、西田先生から心温まるエールも頂きました。

ワークショップ後、WS6の懇親会に参加し、楽しい交流の時間を頂きました。

15日・16日は特別講演、教育講演、シンポジウム、研究討論会、県民フォーラム、口演発表、ポスター発表等で盛沢山でした。

特別講演は「認知症の人の口を支えるために 一歯科治療ガイドラインからの提言―」東京都健康長寿医療センター歯科口腔外科部長 平野浩彦先生のご講演、教育講演は「適切ながん口腔支持医療の提供のために」国立がん研究センター中央病院歯科医長 上野尚雄先生のご講演でした。

シンポジウムのテーマは「大会のメインテーマ」で、藤田医科大学医学部歯科・口腔外科講座教授 松尾浩一郎先生の基調講演と三鬼達人先生、松井俊和先生、田口知実先生方からチーム医療の取組み等と熱いメッセージを頂きました。

県民フォーラムでは、村松高史様と荒井里奈様から「がんを越えて生きる」、「食べることは生きること」のご講演を頂き、生きていることの素晴らしさと生きる力を頂きました。

会員発表は、口演発表44題、ポスター発表152題で、周術期に関する研究や口腔ケア、地域ケア会議、オーラルフレイル、歯科衛生士教育関係等の研究が多数でした。

全国各地の諸先輩方とも交流させて頂き、来年は大阪でお会いしましょうが合言葉でした。(来年の会場は大阪国際交流センターです。)

今後も学術大会に参加させて頂き、歯科衛生士としてレベルアップを図りたいと思います。

(歯科衛生士、健康管理士 上牧左右子)



(学術大会会場入口)



(WS6懇親会の集合写真)



(メイン会場)